

雨の銀座に集まった 懐かしい顔、顔、顔

渡辺仁史



think the future from hitoshi watanabe lab.

●集り散じて人は変れど仰ぐは同じき 理想の光

2023年3月18日(土) 14時から、仁史研究室としては7年ぶりとなるOBOG会を、銀座のホールを借りて開催しました。

今回は、全国からオンラインでの参加も20名ほどあり、会場に駆けつけてくださった120名の出席者とともに、2時間半の交流を楽しみました。

学部を卒業して20数年ぶりに初めて参加したという卒業生もいて、同期だけではなく、先輩や後輩とも久しぶりの再会を懐かしんでいました。

今回の集まりの趣旨は、卒業後に各方面で活躍してきた皆さんが、現在の状況を報告し合い、また異なる業界での情報を交換しながら、これからの仕事や暮らしに向けて大いに刺激をしようということでしたので、その目標は十分に達成できたように思います。

634名の仁史研究室に所属あるいは関係の深かった方々で構成する OBOG 会ですが、実はその半分は連絡不明者なのです。

今回の企画のために、様々な方法で連絡先を探しましたが、結局、メー

ルで発信した数は350名、しかしすでに使わなくなったアドレスの方も多数いて、最終的に名簿更新のアンケートに回答して下さった226名が、現在、確実に連絡が取れる卒業生ということになります。

残りの2/3の卒業生については、卒業年別あるいは職場別に幹事を決めて、きめ細かな把握をしていきたいと思っています。

この「ひとしの森新聞」は、350名の方に配信していますが、まだ私宛てに連絡をいただいていない方は、ぜひ下記のメールアドレスにその旨をご連絡ください。

hitoshi@waseda.jp

今後しばらくは、毎月第2日曜日の10時からZOOMによるバーチャル研究室会議を開催していきますので、ぜひ参加してください。

